

平成29年度 学校法人純美禮学園

滋賀短期大学附属幼稚園 修了証書授与式園長式辞

穏やかな春の日差しが降り注ぎます今日の佳き日に、純美禮学園理事長、松村文夫先生を初め多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、さらに保護者の皆様の暖かいまなざしに包まれた中で、平成29年度、本園創立37回目の卒園式を挙行できますことを心より感謝申し上げます

ご来賓の皆様には、本日公私とも大変ご多用の中、早朝よりご臨席を頂きましたことに衷心よりお礼を申し上げます。

「本日は誠にありがとうございます」

49名の皆さん。ご卒園おめでとうございます。

今日まで一緒に過ごしてきた49名のみんなが集まるのは今日が最後になりました。

一人一人が色々な思い出を持っていることでしょう。その中には滋賀短期大学附属幼稚園でしか経験できなかったことがあるはずです。この幼稚園でしか出会えなかった友だちがいるのです。園長先生は皆さんが手話を入れながら歌ってくれた「友だち」という歌が大好きでした。もう一度聞きたいぐらいです。

そんな友だちたちも16もの小学校へそれぞれが進学しますが、幼稚園の友だちはいつまでも覚えていて下さい。

そして進学する小学校でも友だちをいっぱいいっぱい作ってください。友だちとする学校での勉強はきっときっと楽しいものになります。

ここで、少し幼稚園での生活を振り返ってみましょう。一人では難しいことでも、みんなが力を合わせると、とても素敵なおことが出来ます。運動会での龍陣太鼓やすみれフェスティバルでの「サンタさんからきた手紙」「ももたろう」、自分たちで考え工夫し挑戦してきました。一日入園では「自分に出来ることはないか」と生き活きと活躍してくれました。まさに幼稚園を代表するお兄さん、おねえさんぶりでした。とても頼もしく思ったものです。

さらに、年中さん、年少さんをいつも気にしながらやさしく大切にしてくれました。お相手の人とうまくいかないことも多くあったと思いますが、辛

抱してその子の気持になって関わってくれました。

そして次は園長先生との約束です。

幼稚園でやっていたように歯みがきをしっかりする人になってほしいです。なぜなら健康な歯は自分にとって良いことが必ずどんどん起こります。歯をみがくことは自分を磨くことでもあります。

このように、たくましさ・やさしさ・粘り強さを幼稚園で学んだ皆さんは、小学校でもきっと活躍できます。大丈夫です。力いっぱいやりましょう。

保護者の皆様、お子様のご卒園誠におめでとうございます。目の前の健やかにたくましく成長されたお子様をご覧になり、どんなにお喜ばしいことかと拝察をいたしております。

先ほどの修了証書の授与では、全員がとてもいい眼をしていました。子どもなりに卒園式の意味を理解し、小学校へ向けての新たな気持ちを持っているのでしよう。

私どもの建学の精神「心技一如」、遊びや勉学・運動を通して育てたい豊かな心と社会性、自立の技をどうかこれからの子ども達の人生の根幹にさせていただき応援してやっていただきたいと思います。

また、進学をされるそれぞれの小学校では子どもさんたちの甲斐性を十分に認識をされ、万全の体制で迎えて下さいます。どうぞ安心をして小学校へ送りだして下さい。

最後になりましたが本園に対して寄せていただきましたこれまでのご支援ご厚情に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

それでは、49名のみなさん。「ぼくたちの幼稚園」とさよならです。

「ぼくたちの幼稚園」滋賀短期大学附属幼稚園を誇りにして、また「心のふるさと」にして元気にやって下さい。

巣立っていかれる皆さん一人一人の良さが今後も発揮できますことを心よりお祈りいたしまして私のお祝いのことばいたします。

平成30年3月17日

学校法人純美禮学園 滋賀短期大学附属幼稚園
園長 小野清司